

渥美国際交流奨学財団 設立5周年記念事業

■■■■■ 設立5周年記念シンポジウムの開催

「グローバル化戦略：持続可能な世界をめざして」

1999年7月21日(水) 渥美財団設立5周年を記念するシンポジウム「グローバル化戦略：持続可能な世界をめざして」が東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室で開催されました。会は、佐藤直子理事の司会で進められ、渥美伊都子理事長挨拶の後、中曽根康弘元総理大臣が21世紀の世界情勢についてのお話をしてくださいました。

その後、榊原英資前大蔵財務官の基調講演では、情報革命が進行する中、いかに情報を得て処理していくかが大切であるが、同時に人と人が接して良い人脈を築いていかなければならないということが語られました。

次に、ラクーン会を代表して、1996年度奨学生の金雄熙さん(インターネット革命と日本の役割)、1995年度のマキトさん(グローバルスタンダードの落とし穴)、1995年度の高偉俊さん(中国都市化と環境問題)、そして1997年度のウィリアムズさん(仏教とエコロジー)が発表しました。休憩をはさんで、後半は、加藤秀樹評議員(構想日本代



表)の進行により、新たに石倉洋子理事(青山学院大学教授)にもご参加いただき、前半の発表者も含めてパネルディスカッションが行なわれました。折から、梅雨の終わりを告げる雷雨となり、シンポジウム終了後のレセプションでは、大勢の参加者が雨宿りをしながら留学生や支援団体の方々との交流を楽しみました。海外から駆けつけてくださった5人のラクーン会会員をはじめ、150人の参加者にお祝いしていただき、おかげさまで渥美財団の設立5周年記念シンポジウムも無事に終わりました。



中曽根康弘元総理大臣



榊原英資大蔵省顧問



◆シンポジウムプログラム

挨拶	理事長 渥美伊都子
20世紀と21世紀の分水嶺にたつて	元総理大臣 中曽根康弘
日本のグローバル化戦略	大蔵省顧問 榊原英資
インターネット革命とグローバル化	金雄熙(1996年度奨学生:韓国電子通信研究院選任研究員)
グローバルスタンダードの落とし穴	フェルディナンド・マキト(1995年奨学生:テンプル大学ジャパン講師)
中国の都市化と環境問題	高偉俊(1995年奨学生:早稲田大学理工学総合研究センター講師)
仏教とエコロジー	ダンカン・ウィリアムズ(1997年度奨学生:トゥリニティーカレッジ助教授)
パネルディスカッション「グローバル化戦略:持続可能な世界をめざして」	
	進行:加藤秀樹(当財団理事:構想日本代表)
	パネリスト:榊原英資
	石倉洋子(当財団理事:青山学院大学国際経営学部教授)
	金雄熙 フェルディナンド・マキト 高偉俊 ダンカン・ウィリアムズ
	総合司会:佐藤直子(ナオコ・カンパニー代表)